

開きては爲めに軍中に... 是れ艦隊の損失のみならず威名の損失なり... 戦艦の損失は軍に軍艦の損失なり他に何等の影...

官戦前の襲撃

我等は敢て二月八日に於ける日本の夜襲を... せんを欲するものにあらざるも其行動を執...

以て至大の幸福なりと爲さるべからず豈に... 戦艦と政治組織... 政治より云へば露國と日本は同一の條件に...

戦艦と政治組織

次いで起るべき問題は政府の組織は之に改良... 一方に於ては即ち之に附随するの手續執られ...

英國の政治組織と戦艦

我等の要するは實に英國國民の此實例のみ... 之に比して過大なるを要せず又不及なるべ...

を防ぐの道なき勿論なりと十痼症に對しては... 神も亦如何ともするも能はざるなり英國の...

タイムスの軍事批評(七)

タイムスの軍事批評(七)

事の保護を任とする器械に其自動力を保する... には足るのみ我等は國民の大利益を危害に瀕...

タイムスの軍事批評(七)

るなり此艦隊は共に八日の夜襲に加はらざ... りしものなるを以て此等の艦隊は前進マルニ...

タイムスの軍事批評(七)

タイムスの軍事批評(七)

事の保護を任とする器械に其自動力を保する... には足るのみ我等は國民の大利益を危害に瀕...

タイムスの軍事批評(七)

るなり此艦隊は共に八日の夜襲に加はらざ... りしものなるを以て此等の艦隊は前進マルニ...

旅順口に落下したる如き災害をして戦時我... 等の上に落下せしめざらんことを欲せば我等...

タイムスの軍事批評(七)の紙上に論じたる所左の如し... 十四日早朝旅順口の港外陸地に於て露國艦隊...

破裂して木製造物爲めに火を失ふたりと云... 十二時弾にして果してカサンの如き汽船の...

甲板に破損したらんには其強は遂に其船に最後を與へざるべからず依りて思ふに彈は十二斤砲彈にして右艦砲艦の一の放ちたるものなりしなるべし

商船・禁制品の捕獲

以前の戦局に於て損傷したる他の日本の貨船凡て二十日には再び用ふるに足るべしと云ふ開戦前に豫想されたるが如く有能なる船渠設備を有するの便利既に大に日本に益せんとするの状を示し來りたるは之に依りて明なりとす露國艦隊に對する其成功に加ふるに日本は亦多數の露國汽船を捕獲するを得たり内には海上に於て之を捕獲したるものあり又日本は港内に於て捕獲したるものあり其日本港内に於て捕獲されたるものは即ち憲兵とされたる期日内に於て其所置を決する能はざりしものにして之が期日は十六日を以て盡きたり右捕獲汽船中には一萬五百噸の露國義勇艦隊汽船エカテリノスラウも包含し居れるもの如く此船にして若し之に損傷を與ふるを得ず捕獲され得たりとせば露國艦隊として蓋し貴重なる添加を得たるものなるべし水曜日(十七日)の本紙に載せたるロイドの報に據れば日本は又米國より東亞諸港に向はんとする汽船の捕獲を初めたりと云ふ此等汽船の報

荷は皆中立諸港に仕向けらるるものなり然れども日本は解釋して之を以て旅順口に輸送するものなりと爲せり是に於てか仕向地の名義を中立港に假るの策は即ち破れたり然れども日本は先づ之を以て佐世保の捕獲審檢所に附し以て其解釋の可否を確定せざるべからず六隻の露國軍艦去る十五日ホルチック海上瑞典のゴートランド沖に見られたりとの説は未だ確報に接せず此等の軍艦若しキール運河に向け進軍し居たるものなるに於ては其到着は今日までに於て早く報せられざるべからざる管なり是を以てか此報を確信なりとするには尙ほ之が詳報を待たざるべからず

日本の陸兵輸送

若々集めらるる露國の普魯士南方港より日本アーマダ(船隊)の迅速進軍し居れるを示すものたるは最早や一點の疑を容るるを要せず第一回の輸送に於て幾許の軍隊運搬されたるか又此等は何れに上陸したるか此點に至りては未だ充分に明白ならず唯確信に知られたるは強大なる前衛隊に依りて仁川、京城間交通線の占領されたるにありとす此行動は同時に他の諸港に揚陸を行ふものと依りて要害の諸點及び諸陣地を占領するの目的を全くし以て其主力軍隊をして安全に集合するを得せしめたる事なるべし露國が此捕獲軍隊の多數を以て六萬人なりと信するは果して誤らざるや否や未だ之を知るを得ず其利益なるべしは其多數を將補するものと蓋し其利益なるべし此一難事の既に成功したるが爲めにや日本の檢閲は少しく其嚴酷の度を緩むるに至れり此檢閲なるものは必要なるに相違なしと雖も亦頗る苦情多き事業たりざるを得ず檢閲の制漸く寛なるに至りてより通信員等は長崎に於ける準備につきて徐々漏す所あるに至れり即ち其云ふ所に従へば去る十五日に於て戦備を完成せる一師團の兵を輸送するに堪へたる十隻ばかりの大汽船同港に集泊し居たりとなり其他の南部諸港及び内海の諸港また等しく之が準備を有すとせば我軍は遂に其國民の目的を遂行せんが爲め巧に海陸一切の方便を合せて以て海上強大なる遠征軍を派遣し得る海國の勢力なるもの如何に強大なるかを實例に依りて實見せしめられんとするものなり

露國の南方諸港及び内海の諸港また等しく之が準備を有すとせば我軍は遂に其國民の目的を遂行せんが爲め巧に海陸一切の方便を合せて以て海上強大なる遠征軍を派遣し得る海國の勢力なるもの如何に強大なるかを實例に依りて實見せしめられんとするものなり

流水に依りて効げられざるを得ず何れにするも今既に目前に迫り居れる事件に對して徒に豫言の辭を弄するは無用の業たるを免れざるべし

タイムスの日露

戦争批評 (十二)

二月十九日所載タイムス軍事投書家所論の下半部は即ち露國の日本をしてナポレオンの覆轍を踏ましめんと欲するものなるを論じたるものにして其要領は露國に米國新聞に轉傳されたるものに依りて既に之が露國を經たりと雖も其全文を擧げれば左の如し

露國報復の宣言

其實際上之を發揮するを得るや否や其は知るべからざる所なりと雖も宛に

露國は此際その敵の勢力と其決意とにつきて頗る憂慮し居れるものなり「敵の勇敢、沈毅にして且つ敏捷なるものたるを記憶せよ」とは露國が實に其軍人に賜ひたる勅語にして「我等が敵は強大なり」とは亦總督の其宣言書に云へる所なりとす其哈爾濱に退却したりとの説あるもの即ち總督の之を斯く信じ居れる證なりと爲すべし

露國は此際その敵の勢力と其決意とにつきて頗る憂慮し居れるものなり「敵の勇敢、沈毅にして且つ敏捷なるものたるを記憶せよ」とは露國が實に其軍人に賜ひたる勅語にして「我等が敵は強大なり」とは亦總督の其宣言書に云へる所なりとす其哈爾濱に退却したりとの説あるもの即ち總督の之を斯く信じ居れる證なりと爲すべし